

みんなで考える

現 宮前区役所等施設・用地の活用に向けた

市民検討ワークショップ

第3回 結果概要



第3回のワークショップ概要

開催概要

日時 令和6（2024）年2月3日（土） 13時30分から16時30分まで

場所 宮前区役所

参加者人数 36名 ※ A～Fの6グループに分かれて、ワークショップを実施

プログラム



13:30～13:55

前回の振り返り、本日の進め方

13:55～14:05

敷地・建物等の紹介

14:05～14:50

グループワーク①

～これまでのアイデアを整理しよう～ （45分）

14:50～15:00

休憩

15:00～15:10

他都市事例の紹介

15:10～15:50

グループワーク②

～空間イメージを考えよう～ （40分）

15:50～15:55

休憩

15:55～16:30

発表・講評・事務連絡

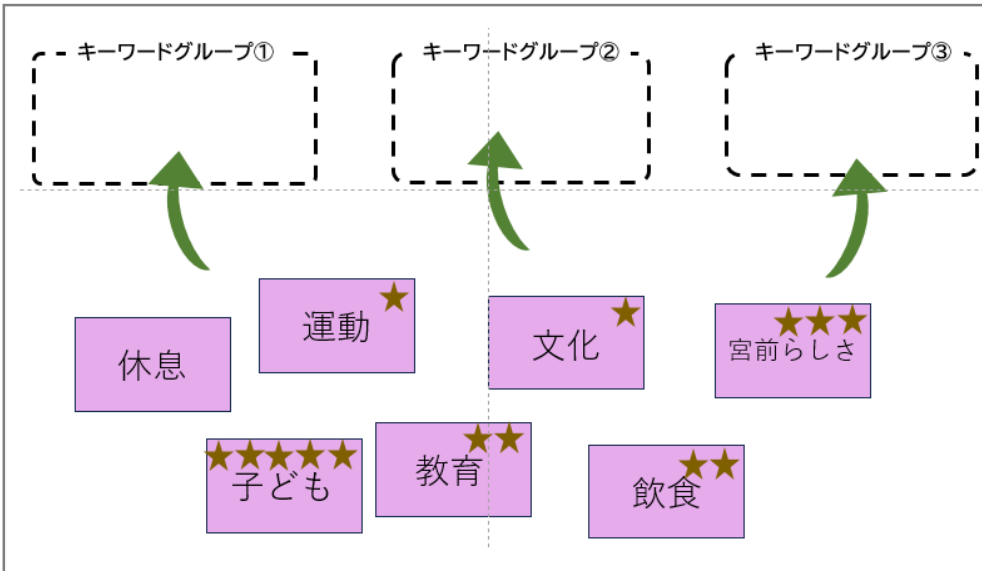


第3回のグループワーク内容①

グループワーク①(1)






第2回で考えたキーワードを整理しよう！

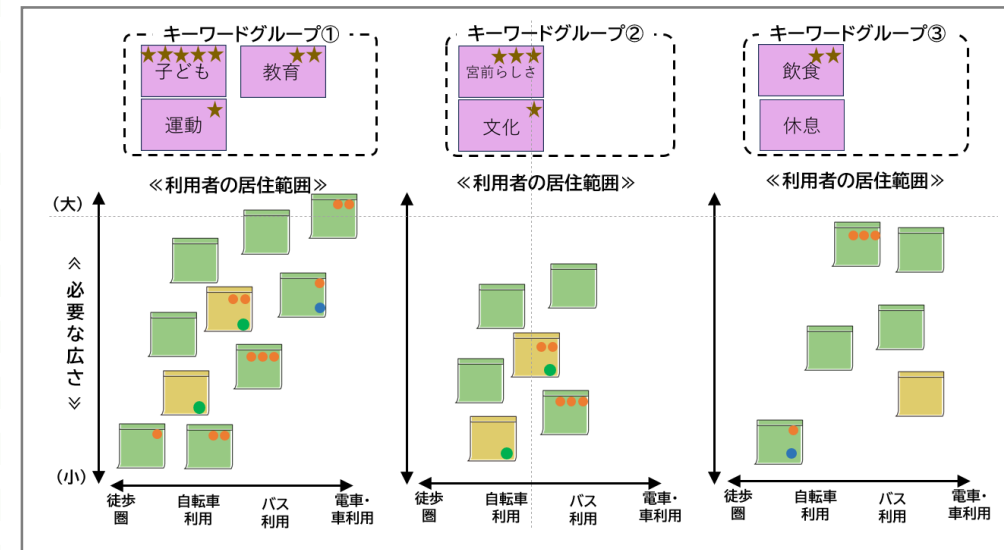
- 第2回で考えたキーワードのうち、重要だと思うものに一人3枚まで★シールを貼る。
- 対象者や内容が似ているもの、結び付けると良いと思うものを3つのグループにまとめる。



グループワーク①(2)

キーワードグループごとに、この場所にとって重要だと思う機能を考えよう！

- それぞれのキーワードに結びついている  緑付箋  黄付箋 +  緑シール を、必要な広さと利用者の居住範囲で整理する。
- この場所にとって重要だと思う機能に、グループごとに一人3枚まで  シールを貼り、既存の施設を利用したいものに  シールを貼る。





第3回のグループワーク内容②

グループワーク②(1)

敷地内のどの場所を実践したいかを考えよう！

●ワーク①で●シールが貼られた付箋を、敷地内で実践したい場所に貼り付ける。

●貼られた付箋について、「同時に実践」できるように工夫して新しい緑付箋に更新する。

緑付箋

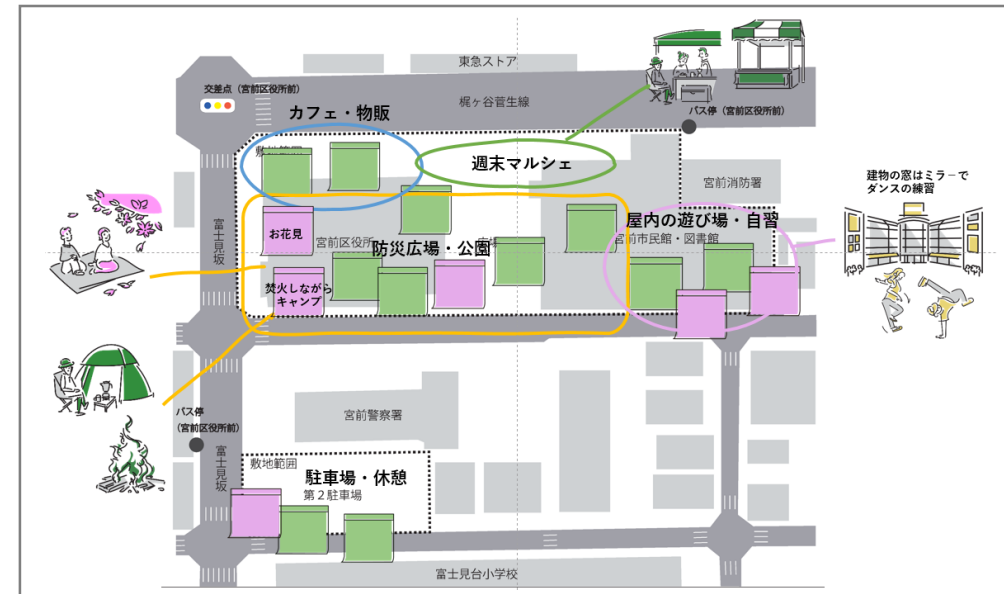
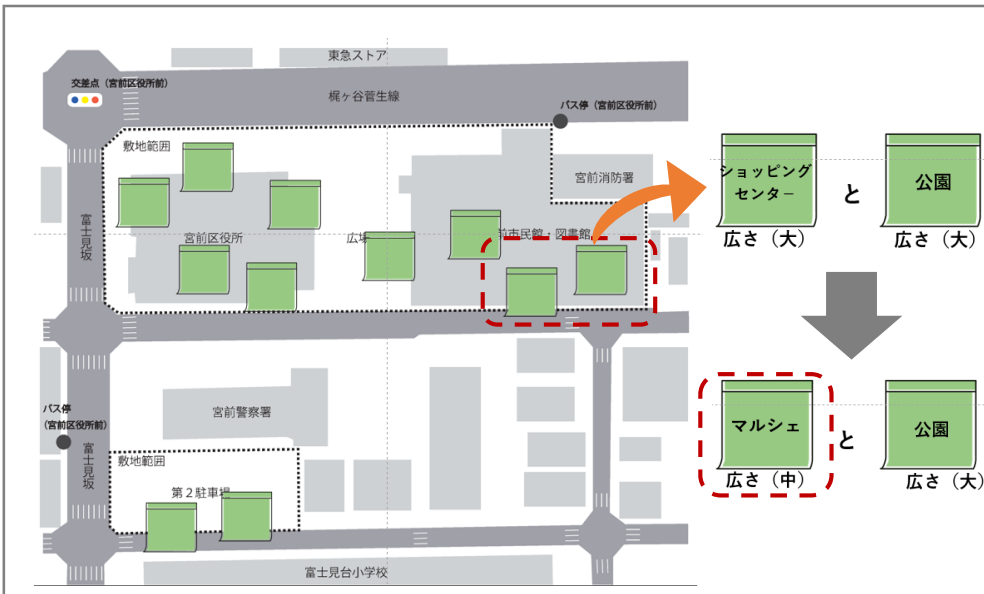
グループワーク②(2)

この場所のアピールポイントをまとめよう

●この場所のアピールポイントを自由にピンク付箋に記入して貼り付ける。

ピンク付箋

●キーワードグループを参考に、活用イメージをイラストなどで模造紙に書き込む。





各班毎のグループワークの結果

それぞれの班に出していただいたアイデアや意見は、次ページ以降のとおりです。

当日の様子



この場所の活用イメージ【A班】



ピンクカード

キーワード ※第2回wsの最後に作成
 (機能整理を行う上でのキーワード)



班内で「重要だ」と思った人の数
 (この場所にとって重要と思うキーワード)



施設・機能 ※第1回・第2回wsで作成
 (この場所に「必要」だと思うもの、この場所で「したい」こと)



班内で「重要だ」と思った人の数
 (この場所にとって重要だと思うもの)



アピールポイント
 (こんな場所になりそう、こんなこともできそう、など)



讃岐先生からのコメント



「段階的な活用を考える」とか「可変性のある空間が大事」というお話が重要なポイントだと思いました。

やりたいことがたくさんある中で、この場所に本当にフィットするか実験してみよう、という意識があるように想像します。この「敷地の使い方を今決めなくてもいいのでは」という問題提起は、凄くメッセージ性の高いものだと思います。

この場所の活用イメージ【B班】



ピンクカード

キーワード ※第2回wsの最後に作成
(機能整理を行う上でのキーワード)



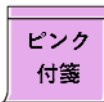
班内で「重要だ」と思った人の数
(この場所にとって重要と思うキーワード)



施設・機能 ※第1回・第2回wsで作成
(この場所に「必要」だと思うもの、この場所で「したい」こと)



班内で「重要だ」と思った人の数
(この場所にとって重要だと思うもの)



アピールポイント
(こんな場所になりそう、こんなこともできそう、など)



讃岐先生からのコメント



対象となる敷地を「小さなまち」に見立てるというテーマ設定をしたことが素敵だと思いました。
 また、2つの敷地があるということ踏まえた上で、集中ゾーン、にぎわいゾーンというゾーン分けを行っているところが、より面白いものになっていると感じます。
 集中ゾーンでは、まちに本当に必要な福祉系の機能を入れているなど、敷地を分けて考えるということに、とても共感しました。

この場所の活用イメージ【C班】



ピンクカード

キーワード ※第2回wsの最後に作成
(機能整理を行う上でのキーワード)



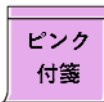
班内で「重要だ」と思った人の数
(この場所にとって重要と思うキーワード)



施設・機能 ※第1回・第2回wsで作成
(この場所に「必要」だと思うもの、この場所で「したい」こと)



班内で「重要だ」と思った人の数
(この場所にとって重要だと思うもの)



アピールポイント
(こんな場所になりそう、こんなこともできそう、など)



讃岐先生からのコメント



C班は「人をどう集めるか」「情報をどう集めるか」といったテーマが明快になって検討を深めていますが、そのテーマの下で高低差のある敷地をどう使うとよいかという議論ができるフェーズに移っています。

例えば、広場的に使いたいのであればフラットな方がいいとか、道路や歩道との接続をどのようにすれば多くの人が集まりやすいかなど、人の行き来を想定して敷地の使い方を議論するとリアリティをもっと高められると感じました。

この場所の活用イメージ【D班】



ピンクカード

キーワード ※第2回wsの最後に作成
(機能整理を行う上でのキーワード)



班内で「重要だ」と思った人の数
(この場所にとって重要と思うキーワード)



施設・機能 ※第1回・第2回wsで作成
(この場所に「必要」だと思うもの、この場所で「したい」こと)



班内で「重要だ」と思った人の数
(この場所にとって重要だと思うもの)



アピールポイント
(こんな場所になりそう、こんなこともできそう、など)



讃岐先生からのコメント



テーマに基づく機能について非常に論理的に構築されていて感心させられました。
「まちの新おしゃれスポット」の提案は興味深く、行政が考えるとは異なるイメージになってしまうこともあるので、市民感覚でどのような状況が「おしゃれ」なのかを具体的に提示できるとより良いと思います。
また、隣接する消防署や警察署との連携などを考えていただきましたが、長期的な目線では「警察署と駐車場の位置は逆なのでは？」という市民感覚も必要だと考えさせられました。

